



野生植物研究所だより



● 若草稲荷神社境内の植物調査 ●

5月13日、登米市東和町米川にある若草稲荷神社で植物調査を行いました。若草稲荷神社境内にどんな植物が自生しているのか・・・昨年の10月13日に引き続いて、ちょうど7ヶ月ぶりの調査となりました。当日は、あいにくの雨模様で、時々雨がぱらつく中での調査となりましたが、秋には分からなかった植物を目録に大分追加することができました。



若草稲荷神社



ユキザサ

花が咲いていた植物を一部紹介します。

エゾタンポポ、セイヨウタンポポ、クサノオウ、セントウソウ、ミツバアケビ、ミツバツチグリ、ヤマブキ、ニガイチゴ、ヤマツツジ、センボンヤリ、チゴユリ、エダウチチゴユリ、ヒメハギ、ユキザサ、ハタザオ、ムラサキケマン、ツルカノコソウ、ニリンソウ、ミヤマキケマン、ルイヨウボタン、レンブクソウ、ニョイスミレ、ラショウモンカズラ、コンロンソウ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、ヘビイチゴ、マムシグサ、ヤブヘビイチゴ、ミヤマエンレイソウ、フラサバソウ



ミヤマエンレイソウ



ラショウモンカズラ



ミヤマキケマンとムラサキケマン

● レンブクソウ 北半球に1属1種 ●

今回の植物調査で、レンブクソウとの嬉しい出会いがありました。宮城県内では産地があまり知られておらず、大変珍しいものです。

【レンブクソウ】

近畿地方以东から北海道に分布し、北半球の温帯にも広く分布しています。小型の多年草で、山地林内に生え、細長い地下茎をひいて増えます。茎は高さ8～15cmほどで、全体無毛、やわらかで、葉柄や茎は触ると折れやすいです。根出葉は3回3出複葉で、小葉は羽状に中裂します。茎葉は1対で短い柄があり、3裂します。花は4～5月頃、茎頂に黄緑色の小花を5個頭状につけます。頂生の花は萼が2裂、花冠が4裂し、8個の雄蕊があります。まわりの4つの花は、萼が3裂、花冠が5～6裂して10～12個の雄蕊があります。レンブクソウ科のものは北半球に1属1種、レンブクソウがあるだけです。



レンブクソウ

【連絡先】 〒989-6252 宮城県大崎市古川荒谷字簀ノ子町12-2 ☎ 0229-28-3601 FAX 0229-28-4452

Blog: <http://plaza.rakuten.co.jp/wakichi/>

E-mail: nagaguduwakichi@yahoo.co.jp

URL: <http://www.wakichi.com/>